

・ ・ ・ 取り扱いに注意が必要な物なもの ・ ・ ・

- ・ 災害時や訓練時において、特に危険が伴う器材等の取り扱いについてご紹介します。
- ・ 自主防災組織（町内会、自治会）においては、労働安全衛生法（以下、労衛法と言う。）の直接の規制対象ではありませんが、事故やけが防止のため、同法を準用し安全最優先での取り扱いを推奨します。

共通ルール（案）

1. 役割
 - ・ 指揮者（開始/中止の号令）
 - ・ 安全監視（危険エリア管理、保護具確認、天候/体調で止める役）
 - ・ 機操作員（「操作できる人」だけに限定）
 - ・ 補助員（誘導、合図、資機材運搬）立入管理
2. 立入管理
 - ・ 危険区域をコーン/テープで見える化
 - ・ 「刃物・切断」「吊り荷」「張力が掛かるワイヤ/ロープ」「倒木・瓦礫」それぞれ別の立入禁止線
 - ・ 見学者は1か所にまとめて、誘導係を付ける
3. 合図と言葉
 - ・ 「停止（ストップ）」「緊急停止」「巻上げ/巻下げ」「切断開始/終了」を定型化
 - ・ 大きい音が出る機械（エンジンカッター、チェーンソー）は、原則“指差し+声”のセット
4. 保護具
 - ・ 必須：ヘルメット、保護メガネ（フェイスシールドでも可）、手袋（耐切創寄りが望ましい）、安全靴（できれば先芯）、長袖長ズボン
 - ・ 器材ごと追加：防じんマスク（切断粉じん）、イヤマフ/耳栓（騒音）、チャップス（チェーンソー用防護服）
5. 点検と試運転
 - ・ 始業前点検（刃の欠け、カバー、締結、オイル漏れ、ブレーキ、非常停止、ワイヤのほつれ等）
 - ・ いきなり本番動作をしない（無負荷→軽負荷→想定負荷）
6. 禁止事項
 - ・ 吊り荷の下に入らない
 - ・ 張っているワイヤ/ロープの延長線上に立たない（切れた時の跳ね返り）
 - ・ 切断物を手や足で押さえて切らない
 - ・ 燃料補給は停止・冷却後、火気厳禁、こぼれたら拭いてから再始動

器材別のポイント

可搬式ウインチ（手動）

主な危険	指挟み、過負荷、ワイヤ破断・跳ね、固定不良など
対策	<ul style="list-style-type: none">・ アンカー（固定）を最優先。固定が甘いなら中止が正解・ 手とワイヤの距離を確保（手袋でも巻き込まれます）・ ワイヤはほつれ・潰れ・キンク（折れ癖）で即使用停止・ 張力が掛かった状態で跨がない、覗き込まない

電動のこぎり（レシプロソー）

主な危険	キックバック、切断片飛散、コード引っ掛け、感電など
対策	<ul style="list-style-type: none">・材料固定（クランプ等）。手で持って切らない・刃の種類を材料に合わせる（無理切りすると暴れます）・コードは作業線から外す、濡れた場所は避ける・保護メガネ＋手袋は必須、騒音なら耳栓

油圧ジャッキ

- ・搬送性から、許容荷重 5t 以下を推奨

主な危険	落下、挟まれ、設置面の破断・沈み込み
対策	<ul style="list-style-type: none">・上げたら必ず当て木/ウマで保持（ジャッキ単体保持は禁止の考え方）・設置は水平・堅固な面＋敷板で沈み込み防止 ・身体を入れない、手を入れない（“ちょっとだけ”が一番危ない）・降ろす前に「全員退避」号令

エンジンカッター

- ・駆動時間を考慮し、燃料式を推奨
- ・搬送性から、排気量 75cc 以下を推奨

主な危険	高速回転体、火花、粉じん、燃料火災、騒音、キックバックなど
対策	<ul style="list-style-type: none">・刃の適合（材質に合う刃、ガード装着）・火花が飛ぶ方向に可燃物を置かない（消火器を手の届く所へ）・防じん（マスク）＋目＋耳はセット・給油は停止・冷却後。周囲禁煙。始動は安定姿勢で

チェーンソー

- ・駆動時間を考慮し、燃料式を推奨
- ・搬送性から、排気量 45cc 以下を推奨

主な危険	キックバック、足への接触、倒木・挟まれ、振動・騒音など
対策	<ul style="list-style-type: none">・操作は経験者限定（“触ってみる” 枠は危険が大きいので、見学＋説明中心が安全）・チェーンブレイキ、ソーチェーンの張り、オイル吐出の点検を儀式化・チャップス（防護ズボン）が強く推奨（できれば必須扱い）・切る対象は固定・逃げ道確保・周囲退避。二人で声掛けしながら

吊り下げ式ウインチ

主な危険	落下、吊り具の破断、感電、巻き込み
対策	<ul style="list-style-type: none">・吊り点（梁・単管等）の強度確認が最優先（ここが曖昧なら訓練でもやらない）・フックの外れ止め、玉掛け（掛け方）を統一・真下立入禁止を徹底（安全監視の仕事）・電源は漏電対策（屋外なら防雨、延長コードの損傷確認、漏電遮断器があると安心）